

波にのまれた、ちいさな波

— ミナモが見つけた、ほんとうのこと —

作てらいし じゅんこ

波にのまれた、ちいさな波

— ミナモが見つけた、ほんとうのこと —

むかしむかし、とても大きな海に、
ミナモという小さな波がいました。

ミナモは、お話をつくるのが大好きでした。



風が吹けば、

「風さんは、どこか遠い国から来たのかな」

青い鳥が飛べば、

「あの鳥は、空の向こうへ手紙を届けるのかな」

ミナモがお話をつくると、

いつもの海が、少しだけ広く、きらきらして見えました。

海も、ミナモのお話が大好きでした。

